

ふるさとひょうご創生塾募集案内

平成8年度兵庫県が開塾
既に20期生560名が活躍

平成30年度募集は(30年3月から)
入塾は30年5月

23 期募集



ふるさと兵庫創生に、
羽ばたきませんか!

地域活動のリーダーを めざしませんか

地域の課題を学び、

年齢・性別不問

リーダーとは何かを考え、自ら活動を企画
し、実践する・・・塾

検索 → 兵庫県生きがい創造協会 → ふるさとひょうご創生塾



塾
の
内
容

- ★期 間 2カ年 ★定 員 30名程度
- ★日 時 原則毎月第2・第3土曜日の10:00~16:00
- ★日 数 1年次・・・23日程度
2年次・・・13日程度+グループ実践活動
- ★場 所 神戸クリスタルタワー内セミナー室(JR神戸駅直近)
- ★受講料 30,000円(年額)

創生塾が培う人材・・・

仲間と共に、地域活動の具体案を熱く語り合う

- ★地域やくらしの課題に取り組もうとする使命感
- ★目標達成に向けてメンバーを牽引する力と多様な意見を調整、合意に導く力、良好な人間関係を築く力等「関係づくり」に関わる力
- ★社会資源を発見し、多様な繋がりを創出する力
- ★問題解決・課題抽出・論理的思考・企画立案・交渉等の諸技術等々を持つ 地域活動のリーダー



2年間の学びを経て **ふるさとひょうご創生マイスター**に認定

あなたを待っています!!

- まちづくり、地域おこしに参画したい
- 新しいことにチャレンジしたい
- 経験を活かし地域人々の役に立ちたい
- 地域を良くするアイデアがある
- 自治会活動を活性化したい・・・等々

《問合せ先》 ※詳細・疑問にお答えします。
ふるさとひょうご創生塾事務局

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-1-3
神戸クリスタルタワー6階(生涯学習情報コーナー内)
☎078-360-9015 FAX078-360-9016

運営・・・兵庫県、公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会

塾の特徴

- ★地域リーダーの資質・能力向上のための社会課題等の学び
- ★実践重視、グループワークの双方向参加型の学び
- ★「企画運営委員」（課題解決・リーダー育成の専門家）「チーム講師」（グループ活動の専門家）・社会課題の専門家等によるサポート体制の充実

企画運営委員長：中瀬 勲先生（県立人と自然の博物館長・県地域創生戦略会議委員）

塾講座の内容

| | 分類 | テーマ | カリキュラム | 講師 |
|-------------|-------------------------------|----------------------------------|---|--------------------------|
| 1 年 次 | 導入講座 2か月 | 塾の趣旨とテーマ 塾生間の人間関係 期待と思いの確認 | 地域づくりの視点 人間関係づくり 塾生活の心構え【宿泊研修】 | 中瀬先生 チーム講師 他 |
| | 基礎講座 2か月 | 企画力と実践力を 高める | 地域づくり・参画と協働 地域課題（環境・青少年・防災 防犯・高齢者等）ボランティア 論・コミュニティビジネス他 | 専門家 ボランティア 活動家他 |
| | 実践講座 ①2か月 | グループ活動の ノウハウの 体験学習 | グループ運営とリーダーシップ 問題解決の基本手順 コミュニケーション方法 会議運営方法 | 企画運営 委員 チーム講師 他 |
| | 実践講座 ②11月～ 翌々年3月 | 実践活動の 企画から 成果の発表 | 情報収集発信・NPO運営 ネットワーク論 企画の基本・活動テーマの抽出 グループ分け・企画の方向性 内容・詳細・活動報告書作成 実践活動 実践活動報告書作成・発表 | 企画運営 委員 チーム講師 他 |
| 2 年 次 | | | | |

神戸クリスタルタワー地図

JR神戸駅直近

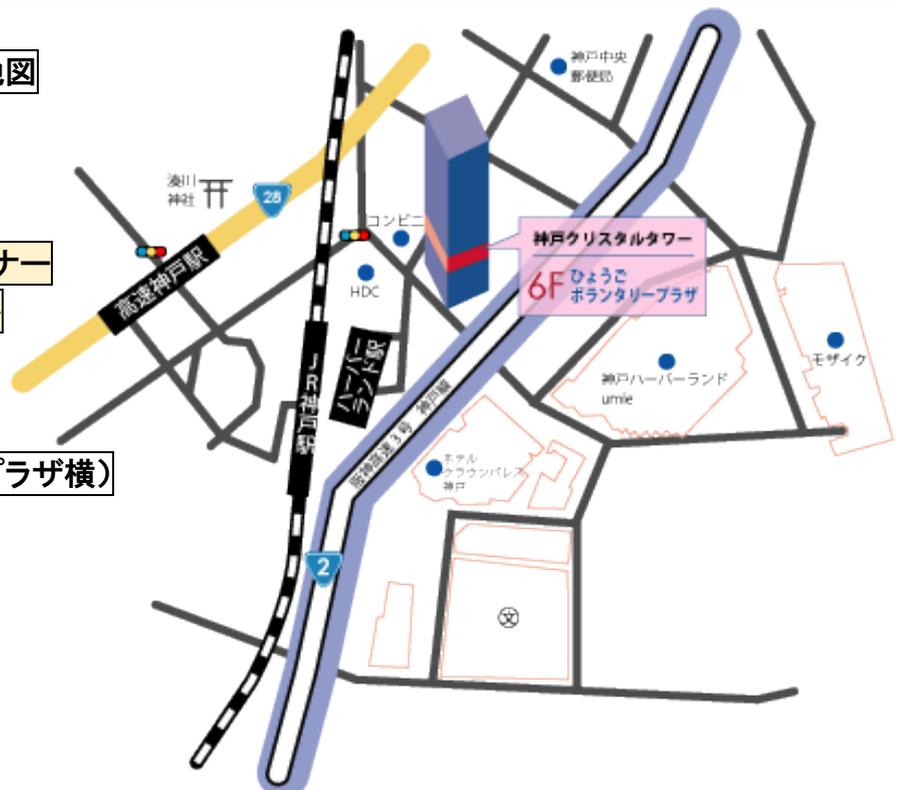
神戸クリスタルタワー

6階生涯学習情報コーナー

ふるさとひょうご創生塾

事務局

（ひょうごボランティアプラザ横）



ふるさとひょうご創生塾での学びの方向

| 分 類 | 学びのテーマ | 学びの具体的方向 |
|--------------------|--|---|
| 導入講座 1年次 | 塾の趣旨 塾生間の人間関係 塾生の想いの共有 | 「参画と協働」（地域づくり）の意味と塾での学びに期待すること 塾生同士との交流と塾生活の規範づくり 卒塾生の活動事例を聞き、交流し塾のめざすものを考える。 |
| 基礎講座 1年次 | 地域課題や現状を聞き、めざす地域活動を考える | 環境・地球温暖化の現状と防止のために地域住民に何ができるか 青少年・課題の具体例と地域活動で何ができるか 高齢者・問題の現状と地域活動の具体例を知り、何ができるか 異文化理解・在住外国人の文化、生活習慣を理解し、地域社会の一員として何ができるか 防犯、防災・地域活動の具体例を知り、自らの活動を考える 情報収集、発信・その具体例を知り、活用策、活用のノウハウ、活用のポイントを考える コミュニティビジネス・具体事例、資金調達を考える 参画と協働・県の基本的考え方とその具体例を知る |
| 実践講座 ① 1年次 | グループ運営 コミュニケーション ボランティア論 NPO設立と運営 会議運営 問題解決 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループ運営とリーダーシップについてワークショップを通じて学び考える ・良好、効果的なコミュニケーションについてワークショップを通じて学び考える ・ボランティア活動の具体例を知りその価値を学び、活動のポイントを考える ・NPOを知り運営の具体例の中での課題や運営のポイントを考える ・ワークショップを通じて会議運営を学び、効果的な方法を考える ・課題、問題の解決の基本手順を学び、ワークショップを通じて具体的手法を考える |
| 実践講座 ② 1～2年次 | 実践活動の 企画づくり | <ol style="list-style-type: none"> ① 企画立案を理解し、塾生各々の考える活動テーマを議論する。 ② 活動テーマを絞り込み、活動グループを結成する ③ 企画の背景・目的・目標等をグループで討議し、集約する ④ 目的・目標に沿いグループとしての活動内容等討議し、企画書素案をつくる ⑤ 企画書素案の詳細を討議し、実行可能性を高める ⑥ 企画書案を塾生で評価・点検しグループにフィードバックする ⑦ 評価・指摘を踏まえ、企画書の精度を高める ⑧ 企画書を仕上げ、発表する。 <p>《実践活動のスケジュール》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実践活動の準備・活動場所の選定・地域等との調整 ● 実践活動の実施（概ね6月～10月） ● 実践活動報告の発表（12月上旬） 【活動内容・参加者の評価・課題・反省等の共有】 ● 卒塾式（3月下旬） 【実践活動報告書の作成と総括の発表】 |

主な講師陣（平成29年度）

中瀬 県立人と自然の博物館長・県立淡路景観園芸学校長
 浅葉 フードバンク関西（NPO）理事長・吉富多言語センター（NPO）理事長・松原企画運営委員
 和崎関西学院大講師・中山宝塚NPOセンター事務局長・県立ボランティアプラザ所長（代理）
 石井NPO姫路コンベンションサポート理事長及び 活動実践者 他
 ※チーム講師・・・会議運営、コミュニケーション等のワークショップの指導
 ・実践活動に向けての企画から活動に対する指導
 岩木ライフデザイン研究所代表他5名

平成30年度第23期ふるさとひょうご創生塾入塾申込書

《入塾を希望される方は、募集期間に関わらず問合先まで郵送・FAXで提出願います》

| | | |
|----------------------------------|--|------------------------------|
| ふりがな 氏名 | | 生年月日 大正 昭和 平成 年齢 歳 性別 男 女 |
| 現住所等 | 〒 | |
| | TEL | FAX |
| | E-mail | |
| | 携帯 TEL | |
| 職業等 | | |
| 勤め先(大学等) の所在地等も記 載願います | 〒 (TEL FAX) | |
| 応募動機 | ----- | |
| | ----- | |
| | ----- | |
| | ----- | |
| | ----- | |
| | ----- | |
| 地域で活動して いること又は したいこと | ----- | |
| | ----- | |
| | ----- | |
| | ----- | |
| | ----- | |
| | ----- | |
| ふるさとひょうご 創生塾を何でお知 りになりましたか | ①TV ②ラジオ ③新聞 ④県民だよりひょうご ⑤卒塾生紹介 ⑥県民局等県機関 ⑦市町機関・施設 ⑧公民館 ⑨在塾生紹介 ⑩その他() | |

《記入上のご注意》個人情報、創生塾の運営のみに使用し、事務局で適正に管理します。

1. 年齢は、平成30年4月1日現在の満年齢をご記入ください
2. TEL は、固定電話・携帯電話どちらかでも結構です（連絡し易い方を願います）
3. 勤務先（大学等）は、可能な範囲で具体的に記入願います（無職の方は無職と記入願います）
4. 応募動機については、あなたの想いを詳しく記入願います。